

仏教学科の新カリキュラムの特色

仏教学部では本年度から新カリキュラムを導入しました。特に仏教学科では、①導入教育のさらなる充実、②専門科目の系統化による体系的学修、③特講科目の拡充による学的関心の喚起、を企図しています。

- ①導入教育の充実——1年次必修科目「仏教学基礎演習Ⅰ」では、少人数制の演習形式の授業によって、学問としての“仏教学”を学ぶための基礎的方法論と、仏教の歴史・思想・文化に関する基礎的な知識と調査方法を習得し、2年次には「仏教学基礎演習Ⅱ」にて文献読解の実践力を蓄積します。また1・2年次の講義形式授業では、従来の「インド仏教史」「中国仏教史」「日本仏教史」等に加え、「アジア文化史」や「日本文化史」などの概説科目が重点科目に位置づけられ、仏教を文化として理解する視座を培うとともに、様々な方面に応用可能な総合的知識として習得していきます。
- ②専門科目の系統化——仏教学科で学べる様々な領域は、山脈のいくつもの峰にたとえることができます。すなわち、〈思想・思想史系科目〉、〈文化史・文化財系科目〉、〈宗教学系科目〉、〈言語・スキル系科目〉、〈日蓮教学系科目〉等にカテゴリライズし、さらに学年指定によって学びの順序を示していますので、学生一人ひとりがめざす“峰”に向かって着実に歩んでいくことができます。
- ③特講科目の拡充——先のカリキュラム改定では、ゼミナール科目のステップアップ化により、主体的実践的な学びの向上を図りました。今回はこれに加え、個別的なテーマを深く学ぶ特講科目を拡充し、学びの楽しさをより実感できるように図っています。セメスター制（半期完結型）の拡充とあわせ、より多くの学修テーマに接することができるようになりました。

立正大学仏教学部で学びませんか？ —今後の日程—

◎〈夏のオープンキャンパス〉で立正大学を見て・感じてみよう！

大崎キャンパス 8月17日（土）・18日（日） いずれも10：00～16：00

熊谷キャンパス 8月4日（日）・24日（土）〔仏教学部ブースなし〕 いずれも10：00～16：00

学部説明会、AO入試説明会・個別面談、教員による相談コーナーなど

◆模擬授業〔○数字は時限 ①11：40～12：20 ②12：30～13：10 ③13：40～14：20 ④14：30～15：10〕

8/17大崎 ①「古代世界における“文明の衝突”」（仏）手島一真教授

②「『方丈記』にみる仏教思想」（宗）北川前肇教授

8/18大崎 ①「仏教美術のはじまり」（仏）安田治樹教授

③「ハーバード大学を訪れて」（宗）原 慎定教授

◆学部ブース：仏教学部生の学園生活を、映像や展示とともに、現役学生が生の声で伝えます！

◎AO入試

AO入試では、明確な目的意識を持った受験生の応募を待っています。また受験生の個性的な才能（資格、リーダーシップ）や高校での課外活動（スポーツ・ボランティア活動）等の経験も高く評価し、

AO入試説明会・面談（必須）→ エントリー → 書類の審査（課題レポート含む）→ 面接試験により、可否を決定します。

8月の〈夏のオープンキャンパス〉で開催する事前説明会においでください。（ご都合がつかない場合は、早めに下記までご連絡ください。）

◆「AO入試要項」を入手希望の方は下記までご連絡下さい。

〈お問い合わせ〉立正大学仏教学部事務室 東京都品川区大崎4-2-16

電話 03-3492-8528(直通) E-mail bst@ris.ac.jp ホームページ <http://bukkyo.rissho.jp/>